

青島港拡充事業(1)~(6)



本事業により建設された石炭パース

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	57,000百万円 / 45,784百万円
借 款 契 約 調 印	1984年10月 ~ 1989年5月
借 款 契 約 条 件	金利2.5% ~ 3.5%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1989年10月 ~ 1994年5月

[事 業 概 要]

青島港前湾地区に石炭用、鉱石用、木材用等、6パースを新設するとともに、港内鉄道、荷役設備等を整備することにより、貨物取扱能力の向上を図るもの。

[評 価 結 果]

本事業においては、1984年から89年までの各年に6次に亘る円借款が供与され、全体の建設工事は1993年末に完成した。

青島港の貨物は石炭、鉱石、石油等の工業原料が中心であり、後背地である山東省、河南省、河北省等の地域の経済発展を背景として、本事業完成後の取扱貨物量は1994年の266万トンから2000年の1,876万トン(うち石炭66%、鉱石27%)へと約7倍に急増している。また、同港全体で見ても、2000年の取扱貨物量は1994年の約2倍に上り、このうち本事業対象のパースが約2割を占める。一方、貨物船の平均停泊日数については、1993年の2.3日から1998年には1日へと減少しており、本事業は同港の貨物取扱能力の増強と海運の効率化に大きく貢献したものと評価される。

なお、港湾施設の運営は適正に行われており、維持管理体制に問題は見られない。